

人材育成を柱に協働 HTBと小清水町が包括連携協定 持続可能な明るい未来に

2024年7月22日（月）

HTBとオホーツクの小清水町は7月22日、防災を軸に人材育成に向けて協働する包括連携協定を締結しました。この協定は「次代を担う人材の育成」「地域防災の情報伝達」「地域の課題解決」などが目的で、締結式は小清水町にある防災拠点兼ね備えた防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」で行われました。久保町長は「地域住民のより良い暮らしのために、官民が協力し、本町が取り組む「フェーズフリー」※¹の考えのもと持続的に発展していきたい」と期待を述べ、寺内社長は「放送をはじめ、ネットやSNSを駆使し、リアルイベントとも連携しながら、北海道で最も信頼されるテレビ局、楽しく笑顔があふれるテレビ局を目指している。こうした民間事業の活力を利用させていただき、さまざまな連携が出来たら」と話しました。また締結式の後には、地元の園児らが庁舎「ワタシノ」を訪れ、HTBのマスコットキャラクターonちゃんや小清水町キャラクターでん坊との交流を楽しみました。

※1. 身のまわりにあるモノやサービスを、日常時はもちろん、非常時にも役立つようにデザインしようという考え方

